

産官学連携 学食へGOプロジェクト



目次

1.自慢したくなるまちのイメージ

2.地域の課題

3.学食の実態

4.4つの解決策

5.費用

6.リスク

7.連携先

8.将来の展望

1

自慢したくなる
まちのイメージ

自慢したくなる「まち」のイメージ

- ・ 小さなお子様からご年配の方まで、幅広い年代の方々が安心して暮らし、活気あふれるまち
- ・ 何十年も安心して暮らせる持続可能なまち

2

地域の課題

地域課題

稲城・多摩・日野・八王子では多摩ニュータウン初期入居地区をはじめ**少子高齢化**が進行

一方、これらの地域には**20以上もの大学**が存在し、**学生が多く住む**

多摩市

大妻女子・国士舘・多摩・東京医療学院・桜美林

日野市

東京都立・明星・杉野服飾・実践女子

八王子市

工学院・創価・拓殖・多摩美術・中央・帝京・東京工科・東京純心・東京造形・東京都立・東京薬科・日本文化・ヤマザキ動物看護・杏林

稲城市

駒澤学園・駒沢女子・駒沢女子短期

地域課題

しかし、18歳以下の減少などの理由から、
多摩市の恵泉女学園大学は昨年閉校を前提とした**募集停止**にふみきる。

八王子市の東京純心大学現代学部子ども文化学科も昨年**募集停止**。

中央大学の看板学部である法学部は昨年、
八王子市の多摩キャンパスから文京区の名荷谷キャンパスへと**移転**。



学生の流出・減少の危機

地域課題

さらに、**コロナ**や**物価高騰**、**学生数の減少**によって、**全国の学食運営企業の撤退**が相次いでいる

稲城・多摩・日野・八王子にある大学の学食も他人事ではない

地域課題

大学の学食は**学外の人**が利用してもいいのか
→大学のホームページを参照しても情報が載っていない

学食の学外者の一般利用については**グレーゾーン**

地域課題の解決策

地域の学食が自由に利用できて、大学の魅力にふれる機会を創出・
地域住民と学生の交流を促進する施策を提案する。

3

学食の実態

2種類の学食

大学は、**民間企業**あるいは**大学生協組合**のどちらかに学食の運営を委託している

民間企業が運営

大妻女子・国士舘・多摩・東京医療学院・
明星・杉野服飾・実践女子・創価・拓殖・
多摩美術・帝京・東京工科・東京純心・
東京造形・日本文化・ヤマザキ動物看護・
杏林・駒澤学園・駒沢女子・駒沢女子短期

大学生協が運営

桜美林・東京薬科・都立・工学院・中央

大学生協が運営する学食

生協食堂は生協組合員の出資金から成り立っており、**原則組合員以外の利用は、組合員の利益を損なうため、禁止**されている。（消費生活協同組合法12条3項）

オープンキャンパスなどで訪れた人が例外的に生協食堂を利用できる

→生協食堂の一般開放は無理なのか

大学生協に問い合わせた結果

一般開放のイベントを行った事例がある生協に直接問い合わせた。

大阪電気通信大学生協 専務理事からの回答

「消費生活協同組合法12条4項において、**行政庁の許可を得た場合には組合員外の利用が認められる。**

大阪電気通信大学生協でも、大阪府より正式に許可を得て、**年間供給（年間売上）の20%を超えない範囲**での員外利用が認められている。

このような規制に則ったうえで一般開放イベントを行った。」

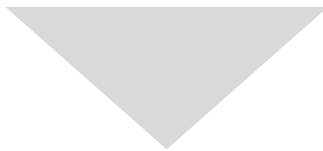
同志社大学生協からも同様の回答をいただいた

4

4つの解決策

解決策① 学食まとめLINE公式アカウントの設立

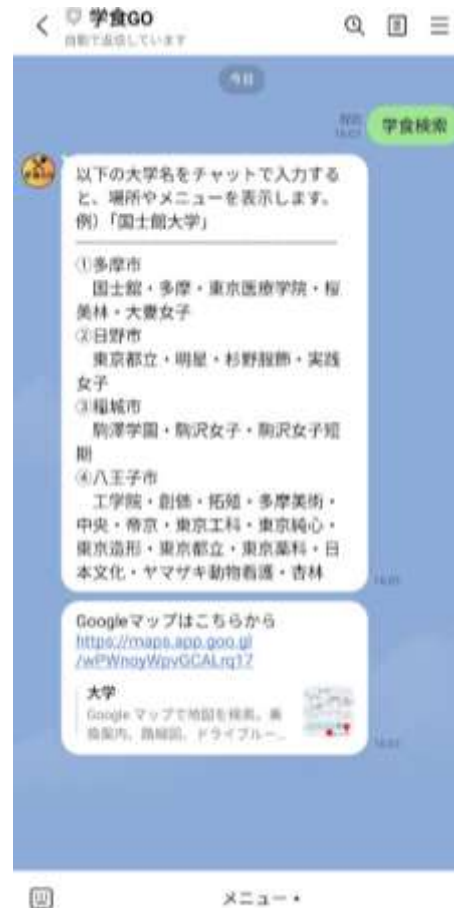
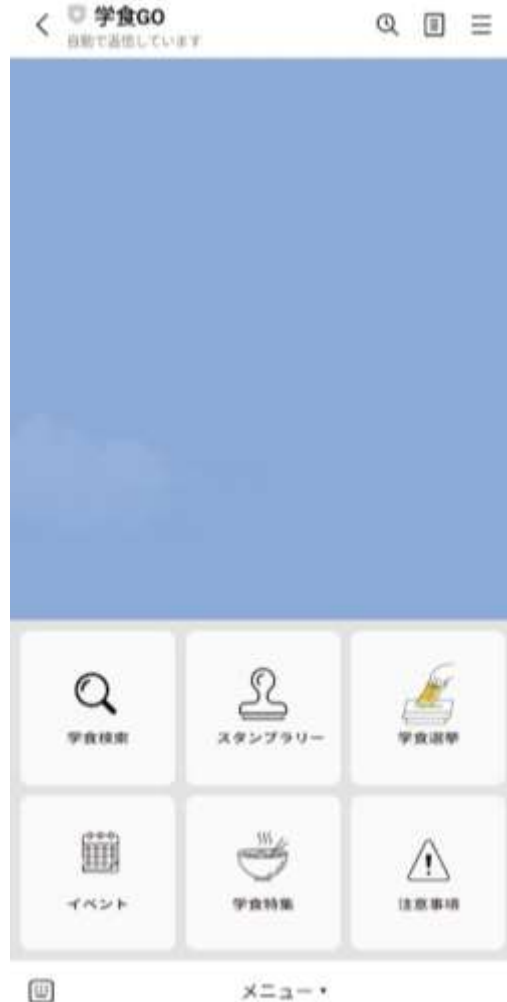
各学食の学外者利用の可否について明確化



LINE公式アカウントに学食情報を一元化

学食まとめLINE公式アカウント

学食検索 大学の名前を入力すると、その大学の学食の場所や営業時間、メニュー等が表示される



学食まとめLINE公式アカウント

オープンキャンパスや文化祭などのイベント情報を発信。期間限定のフェアの情報も発信。

イベント



学食特集



解決策② 学食スタンプラリーの開催

各学食にスタンプを設置し、学食を巡ってもらうイベント。スタンプの数に応じて**景品**を贈呈。

学食でスタンプラリーカードを入手



各学食を巡ってスタンプを集める



学食にてスタンプラリーカードと引き換えに景品をもらう

学食スタンプラリー

対象大学: 八王子・日野・多摩・稲城に存在する大学
期間: 一ヶ月程度
ターゲット: ①京王線沿線地域に住む方々
②大学進学を考えている高校生
③小さなお子様
景品: ex.京王電鉄の乗車券

学食スタンプラリーの過去事例

関西の京阪電気鉄道株式会社が沿線の大学を対象とした学食スタンプラリーを開催
2017年から2019年まで、すでに**3回**開催されている

解決策③ 学食選挙の開催

学食スタンプリーの参加者はスタンプを **2個以上集めると選挙権を獲得**し、スタンプラリーカードが**そのまま投票用紙**になる。

スタンプラリーカードに好きな学食のある大学を記入して、投票箱に投函。

スタンプを2個以上集める

スタンプラリーカードに記入
お気に入りの学食のある大学を

学食に設置された投票箱に投票

LINE公式アカウントからスタンプラリーと学食選挙の詳細情報にアクセスできる
学食選挙の結果についてもLINE公式アカウントで発表する

学食選挙



解決策④ 100円朝食の支援

100円朝食とは、物価高騰に苦しむ大学生に100円でバランスの取れた朝食を提供、経済面・健康面で学生を支援する期間限定の企画。全国の大学で広まりつつあり、対象地域でも法政大学や帝京大学が実施したことある。

100円朝食は大学や生協が値引き分を負担するが、
学外から支援することができないか



- ・学外利用者や地元企業から**寄付**を募る
- ・協賛いただいた企業には学食で**企業説明**の場を設ける

4つの解決策の効果

- ・ 学食の持続的運営を支援
- ・ 地域住民や地元企業と学生の交流促進
- ・ 学生の支援
- ・ 大学の存続を支援

5

費用

費用

公式アカウント：	月額5000円～15000円
スタンプラリーカード作成：	約200,000円（5,000人の参加を想定した場合）
景品：	約300,000円（1,000人に300円の景品を贈呈する場合）
<u>オンライン寄付システム：</u>	<u>月額数万円から10万円程度</u>

合計 約60万円

5

リスク

リスク

そもそも学食は学生のための食堂、一般人が利用すると学生に迷惑がかかるのでは？

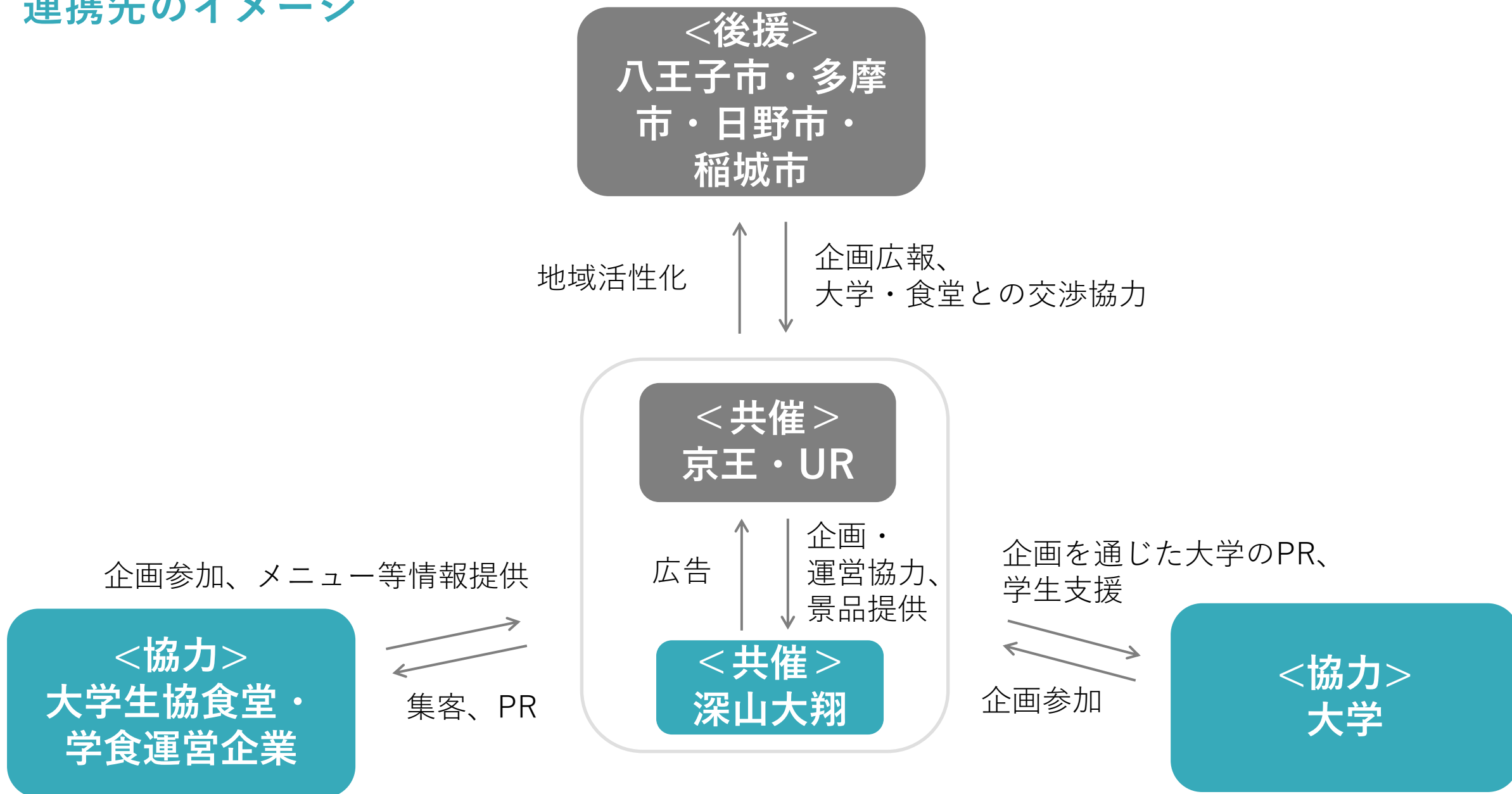


- ・ **ピーク時を避けた一般開放**
- ・ **公式アカウントでのルールやマナーの周知**
- ・ **学外一般利用価格**の導入も検討

6

先携連

連携先のイメージ



7

将来の展望

将来の展望

- ・ **対象地域を拡大**したスタンプラリー
- ・ 地域の企業の**社員食堂**を一般開放するイベント

最後に

学食を通して、**自慢したくなるまち**を目指す

- ①学食まとめLINE公式アカウントの設立
- ②学食スタンプラリー
- ③学食選挙
- ④100円朝食支援



「小さなお子様からご年配の方まで、あらゆる年代の方々が安心して暮らし、活気あふれるまち」を実現

ご清聴ありがとうございました

学食まとめLINE公式アカウントの**プロトタイプ**をつくりました
是非QRコードから追加してみてください

